

あけましておめでとうございます。 2017年もよろしくお祈いします！

あけましておめでとうございます。昨年は熊本地震や鳥取地震などがあり、年末には糸魚川市の大火がありました。災害にあわれた方にはお見舞いを申し上げます。今年はこのような災害が起こらないことを願っていますが…地震など自然災害はいつ起こるかわかりません。歴史的には中越863年・東北869年・熊本869年・鳥取880年・南海887年と地震が起こったことがあります。いつ東南海トラフの地震が起こるかわかりませんので、常日頃から十分に備えておきたいと思えます。

2017年は人工知能AIとセンサーネットワークIoTにより、第4次産業革命の元年となるのではないかとされています。住宅業界においてはZEHを始めとするエネルギーマネジメントと人手不足を解消する生産性向上に可能性があるのではないかと思えます。自動車のエネルギー効率は1999年と比較すると約8倍効率が向上したと言われており、自動運転開発でも各社が凌ぎを削っています。再生可能エネルギー活用や地産地消の分散発電最適化によって、住宅やビルでのエネルギー効率も近日中に格段に向上していくと思われれます。我々も色々とチャレンジしていきたいと思えますので、皆様方で関連するようなテーマがありましたら是非お声掛けください。2017年今年もよろしくお祈いします。

なお、現場点検システム『点検録』が横浜市の中小企業新技術・新製品開発促進事業(SBIR)の行政課題解決型に採択されました。テクニカルショウヨコハマ2017に展示させていただくことになりましたので、ご関心のある方は是非ご来場ください。

代表取締役 内山 岳彦

テクニカルショウヨコハマ2017 出展！

開催日時：2/1(水)~2/3(金) 10:00~17:00

開催場所：横浜パシフィコ展示ホール C・D

出展場所：横浜ものづくりゾーン g-19



エー・エス・ディは 『テクニカルショウヨコハマ2017』 に出展します。

点検や検査時などでご活用頂ける【点検録】をご案内致します。入場は無料です。

詳しくは同封の案内状をご覧ください。

『熊本地震による築浅倒壊物件の解体調査報告会』 を開催しました。

昨年、12/19(月)に「熊本地震による築浅倒壊物件の解体調査報告会」が行われ盛況のうちに終了いたしました。

第1部は株式会社M's構造設計の佐藤 実氏による
熊本地震での築浅物件の倒壊はなぜ起きたのか？をテーマに
実際の現場で直面した様々な問題点について報告をしてい
だきました。



第2部では、前半をエー・エス・デイの
～本当に安心できる家づくりを目指すために～『確実な施工履歴が安心な住宅を担保する』を
テーマとし、後半は、ソイルペディアの佐藤 一枝氏による『地盤は切り離せない、地盤・基礎構造
の三位一体』について語っていただきました。

今後も、本当に安心できる家づくりを目指すために様々な角度から家づくりについて考え、情報
共有ができるようなセミナーを開催していきたいと思えます。

【セミナー参加者の声】 ※一部をご紹介します

耐震の大切さを改めて実感した。
4号建築物においても構造計算の必要性を感じた。安全、安心な建物の
提供を今後していける様、ユーザーお客様にしっかり伝えていこうと思った。

耐震に関して 直下率が低い案件の耐震リフォームを行なう際、受ける梁のスパンが
上がらないので、耐震壁から発生する縦方向の圧縮力が梁にとれだけの
影響を与えるかが気になる。現状は接合部スコアを落とし、必要層量を
増やす方針を取っているが妥当か？

木造もRCも基礎も、その設計の重要性を知ることができた。
(コンクリート関連業者の方) コンクリートとその品質についてのご見解にとてもおありでした
お聞きしたいです

当社のサービスなどに関するお問い合わせは以下の電話で受け付けています。

お問い合わせ電話番号

045-478-2482

ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

お電話の受付日時は、平日9時から18時までにな
っております。(土日・祝日・年末年始を除く)